

# 成田市都市計画審議会 会議概要

## 1 開催日時

平成28年3月23日（水） 午後1時30分から3時30分まで

## 2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 議会棟3階 執行部控室

## 3 出席者

(委員)

宗藤委員、片岡委員、岡野委員、諸岡委員、雨宮委員、会津委員、鬼澤委員、橋本委員（湯田委員代理）、平山委員（山本委員代理）、茂手木委員、篠田委員  
(順不同)

(事務局)

齊藤都市部長、藤崎都市計画課長、鵜澤都市計画課長補佐、富澤係長、飯嶋主査、池田主事

## 4 議題

議案第1号 大栄都市計画地区計画の変更について（成田市決定）〔付議〕

報告第1号 次期都市計画マスタープラン（基本方針案）の検討について〔報告〕

報告第2号 下総大栄都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針  
の変更に係る市町村原案について〔報告〕

## 5 議事(要旨)

議案第1号「大栄都市計画地区計画の変更について」の付議では、全会一致にて原案のとおり可決した。

(質疑応答)

議案第1号 大栄都市計画地区計画の変更について（成田市決定）〔付議〕

質疑なし

報告第1号 次期都市計画マスタープラン（基本方針案）の検討について〔報告〕

質問(委員)

市が以前策定した「成田国際空港周辺土地利用ビジョン」とはどのような点で整合を図っているのか。

また、次期都市計画マスタープランの策定にあたり、どのようなところに市の特徴を盛り込んでいるのか。

#### 回 答（事務局）

「成田国際空港周辺土地利用ビジョン」との整合でございますが、土地利用ビジョンにおいて対象となる空港から概ね6 km圏内の区域に示された「交流賑わいゾーン」などの各ゾーンの考え方を参考として、本計画の記述に反映しているほか、空港周辺においては国家戦略特区の指定を受け、エアポート都市構想や国際医療学園都市構想が示されておりますので、それらも含めて内容の整合を図っております。

次に特徴でございますが、P 37に示す「まちづくりの目標」の4番目「ポテンシャルを生かした成田らしいまちづくり」にありますとおり、成田空港や新勝寺、また特区の指定といったポテンシャルを生かしたまちづくりという点に特徴があるものと考えております。

#### 質 問（委 員）

P 51の「イ．鉄道利便性の向上」の項目に記載のある新駅の設置とは「(仮称)土屋駅」のことを指していると思われるが、新駅の設置は空港へのアクセス性の向上に資するかどうか、都市計画の観点から整理したうえで記述しているのか。

#### 回 答（事務局）

新駅の記述については、現行計画に記載のあるものであり、現行計画の評価を行った際に担当課である企画政策課において、新駅設置に向けた取り組みは、これまで同様、継続的なものであるという回答を得たことから、引き続き記述しております。

#### 意 見（委 員）

「(仮称)土屋駅」の実現に向けたこれまでの経緯は十分理解しているが、次期都市計画マスタープランの策定にあたっては、一度記述を整理するというところも検討すべきと考える。

また、都心から空港への直結線の実現は、市に大きなメリットとなりうるため、広い視点から空港のアクセス性向上についても検討されたい。

#### 意 見（委 員）

人口密度の減少などを鑑み、周辺市町村との広域的な連携を図るべきと考える。

#### 質 問（委 員）

語尾の表現に「努めます」、「推進します」、「促進します」など様々な表現がでてくるが、使い分けた意図はあるか。

#### 回 答（事務局）

都市計画マスタープランは、都市計画法で定めるところの「都市計画に関する基本的な方針」と題されるものであるように、あくまで実施計画ではなく方針であることから「実施します」などの断定的な表現はしておりません。

また、関係課に対して行った施策評価において「優先的に実施すべき」、「長期的には実施すべき」など段階別の回答を受けており、優先的なものについては「推進する」、長期的なものについては「努める」などといった使い分けをしております。

#### 質 問（委 員）

P 5 0 の将来都市構造図において示されている「幹線道路（長期構想）」について説明されたい。

#### 回 答（事務局）

昨年度、土木課において「成田市幹線道路網整備計画」を策定しており、その中で示された路線の内、市の環状道路となり得るなどの都市計画上、重要と考えられる路線を「幹線道路（長期構想）」として位置付けております。

#### 質 問（委 員）

P 1 5 の現行計画の評価・検証に関して、「廃止・中止・終了すべき」とされた施策は、具体的にどのようなものか。

#### 回 答（事務局）

例えば大栄インターチェンジ周辺、圏央道インターチェンジ周辺における各種情報提供機能の形成といった施策について、案内所の整備の予定がないため廃止するなど、各分野において「廃止・中止・終了すべき」された項目が3つ程度ございます。

#### 質 問（委 員）

「自然環境・景観に関する方針」について、具体的になにがあるか。

#### 回 答（事務局）

一つの施策に対して、複数課が回答しており、事業の完了により「終了すべき」と回答している課がございましたが、施策自体を「廃止・中止・終了すべき」としているものはございませんので、実質的に廃止となった施策はございません。

#### 意見（委員）

土地利用となるとどうしても経済的な部分が優先され、自然や環境の保護といった側面が後回しになりがちであるため、保全に関する方針にも十分配慮されたい。

#### 質問（委員）

「NARITAまちづくり☆ワールド・カフェ」に参加された方の年齢構成の内訳を確認したい。

#### 回答（事務局）

事前申込者77名の内、51名の方に参加をいただきました。

主な年齢構成としては、30代が10%、40代が6%、50代が15%、60代が26%、70代が16%、80代が10%となっており、60代が最も多く参加されております。

#### 質問（委員）

市内にある工業団地の立地状況を確認したい。また市として、成田新産業パークなどに誘導したいものなどはあるか。

#### 回答（事務局）

工業団地については、区画がすべて埋まっているような状況だと認識しております。成田新産業パークについても、すべて区画が埋まっており、具体的にはヤマサ醤油、IHI回転機械などの企業が立地しております。

#### 質問（委員）

成田市の将来的な発展には、人が集まるまちづくりを進める必要があると考える。

現在、第3滑走路などの検討が進められているが、そのようなレベルでは、成田市としてだけでなく広域的な視野での都市計画が求められていると考えるが、その点はどのように考えているか。

#### 回答（事務局）

成田市にある空港や東関道、圏央道などを鑑みても広域的なまちづくりの視点は必要であると認識しております。

これに関しては、都市計画マスタープランの上位計画である「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」を千葉県が広域的な視点から定めており、市の都市計画マスタープランにおいてもこれを受けた検討を進めております。

#### 意見（委員）

県のレベルで広域的な都市計画を考えるのであれば、県に対し、市として要請を行うなど積極的な働きかけをすることが必要だと考える。

また、第3滑走路ができた場合には、その周辺部で新たな問題が起きると考えられるため、それらに対応した土地利用について展開できるような効果的な計画となることを望む。

#### 質問（委員）

P50の将来都市構造図を見ると「自然環境と生活環境が調和するエリア」が非常に小さいように見えるが、コンパクトシティの実践には、農地の保全が重要だと考える。

その点について、どのように考えているか。

#### 回答（事務局）

農地の保全に関する重要性は認識しており、本計画においても自然環境の保全などとともに農地の保全について記述を盛り込んでおります。

また、P50の将来都市構造図において「空港と一体となった地域づくりを進めるエリア」については、一概に市街化を図るということではなく、農地の保全や環境の保全といった意味も含めたエリアとなっております。

### 報告第2号 下総大栄都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更に係る市町村原案について

#### 質問（委員）

国道51号線の桜田地区に関して、大栄病院の進入路は非常に不便な状況となっている。今後改良などの予定はあるのか。

#### 回答（事務局）

現在、国道51号線のバイパス工事が国で進められておりますので、この工事の進捗によって改善が図られるのではないかと考えております。

## 6 傍聴者

なし

## 7 次回開催日時（予定）

平成28年5月下旬

